

医療・介護機器メーカーのオージー技研（岡山市中区海吉）が瀬戸内市に整備していた物流拠点が完成、6月から本格稼働を始める。国内外で高まる介護浴槽などの需要に対応

し、同市内の呂久工場から倉庫機能に移転。スムーズな出荷体制を整えるとともに工場の製造スペースを確保することで、物流、生産それぞれの機能を強化する。（伊東圭一）

瀬戸内に物流拠点

オージー技研

来月本格稼働

新設したのは「豆田ロジスティクスセンター」（瀬戸内市呂久町豆田）。民有地約6800平方メートルを取得し、鉄骨2階延べ約4300平方メートルの事務所兼倉庫を建てた。投資額は非公表。約4キロ南にある呂久工場（同市呂久町向山）で製造した介護浴槽、低周波治療器といった製品を保管し、全国に出荷する。子会社のオージー物流（岡山市中区海吉）が10人体制で運営に当たる。

従来は呂久工場の倉庫に部品や資材と一緒に製品を置いていたが、生産増で手狭になっていた。新センターに完成品保管と物流の機能を移すことで、多様な製品を迅速に発送できる体制にする。

一方、同工場は製造に特化し、空いた場所を活用して組み立てエリアなどのレイアウトを変

更。製造に充てるスペースを1.5倍に広げ、部品や資材の保管量



整備を整荷体制を

も増やして生産能力を高める。物流、生産機能の再編成は、高齢化が進む国内や、経済成長が続く東南アジアなどで医療・介護機器の市場が拡大しているため。今月には、海外での知名度アップと販売強化に向けて、全製品の統一ブランド「OG Wellness」を初導入。英語で「健康を目指すし、維持・発展させようとする行動」を意味するウェルネスを名前に取り入れた。

オージー技研は「出荷先の国ごとに製品をそろえるため、生産、物流の両面で機能を強化する必要がある。新拠点を活用し、世界をにらんだ体制を整えた」としている。

医療・介護機器
同社は1966年設立。資本金4千万円。売上高125億円（2014年4月期）。従業員483人。

オージー技研が6月に稼働させる豆田ロジスティクスセンター（瀬戸内市呂久町豆田）